

目標達成計画

作成日: 平成28年 4月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		思いや意向の把握	それぞれの利用者様の状態把握を行い、利用者様に応じたケアを実践する。	それぞれのスタッフが各利用者様の生活歴を把握し、それをもとに現在の思い意向を汲み取れるような取り組みを行いスタッフで共有する。具体的にはセンター方式のA・Bシートをより重視し、活用する。	12ヶ月
2		重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	グループホーム小ヶ倉として、重度化や終末期に向けての受け入れの態勢を整える。	定期的な勉強会を実施しスタッフの技術、知識の向上を図る。主治医、家族様との連携を密にしその利用者様に応じた支援体制を確立する。	6ヶ月
3		災害対策	様々な災害を想定したマニュアルを作成すると共に、滞りなく行えるよう避難誘導の習得を目指す。	火事その他、地震や水害など広範囲に渡る災害への対策を考える。火災では総合避難訓練の際日中も想定した訓練の実施や、風水害対策として施設設備の見直しなどを行う。同時に、地元自治体と連携しハザードマップを作成する。	6ヶ月
4		日常的な外出支援	それぞれの利用者様のADLに応じた外出を支援する。1階2階問わず利用者様のADLを考慮し外出支援を定期的に行う。	天候や状況に合わせて散歩やドライブなど外出する機会を増やせるような体制を整える。2、3か月に1回は外出行事を計画し実施する。運転者、スタッフの人数を確保し外出できる日を作れるよう努める。	6ヶ月
5					ヶ月